



# ゼミ生のアウトプットと学外交流の機会が飛躍的に増加

## Tableauのスキル・経験が学生のキャリア選択に大きく寄与

# 1~2つ

ゼミ生各自が小一時間の授業内に作成するアウトプットの数

福岡大学

<https://www.fukuoka-u.ac.jp/>



業種：大学

学部在学生数：1万8711名

(2022年5月1日時点)

所在地：福岡県福岡市城南区七隈8-19-1

事業内容：福岡市内の広大なキャンパスに9学部31学科を設置する、西日本有数の私立総合大学。1934年に福岡高等商業学校として創立し、1956年に現在の大学名に改称。「思想堅実」「穏健中正」「質実剛健」「積極進取」を建学の精神とし、真理と自由の追求、自発的で創造性豊かな人間の育成、社会の発展への寄与を使命に掲げる。2022年までに約28万名の卒業生を輩出。

### 導入の背景・選定理由

#### 個人PCで使える分析ツールの導入が急務に

ゼミでデータ分析を学ぶツールとして、オンプレミスの統計解析ソフトを学内の共有PCに導入、利用していた。しかし、コロナ禍で授業がオンラインに移行したことで、ゼミ生の個人PCで使えるデータ分析ツールの導入が不可欠となった。

### 解決策

#### 短期間で使い方を学び、ゼミの内容がどんどん充実

ゼミ生が自主的に公式eラーニングや勉強会で学習を進め、短期間でTableauの基本をマスター。その上で、Tableauを利用したID-POSの分析やオムニチャネル行動の可視化などに挑戦。ゼミ生が自分で身につけたスキル等を実践する場面が増えていった。

### 導入後の効果

#### ゼミ生の成長につながるアウトプットの機会が急増

ゼミ生各自が授業内に1~2つアウトプットできるようになった。また、Tableauコミュニティでの発表など、学外に向けた発表の場が格段に増加。Tableauをきっかけに社会人と交流し、評価される機会も飛躍的に増え、ゼミ生の成長が促進された。

### 今後の展望

#### ゼミ生のキャリア教育にも好影響

インターン先でのTableau活用や社会人との交流をきっかけとして就職先や希望の職種を決めるなど、Tableauのスキルや活動を通じた経験が、ゼミ生のキャリア選択において重要な役割を果たすようになった。

導入時期：2020年3月

導入製品：Tableau Desktop, Prep, Cloud

ライセンス数：ゼミでの利用学生数：2年生10名、3年生10名、4年生4名

主な利用環境：商学部のゼミで利用中

導入に要した期間：3か月

## お客様プロフィール (取材時点)



**お名前:** 太宰 潮様  
**役 職:** 教授  
**所 属:** 商学部  
**研究・授業内容:** 主な研究分野は、マーケティング、マーケティングリサーチ、データマイニング、プライシング、消費者行動論。50人超が所属するゼミと「マーケティングデータ解析」の講義を担当。



**お名前:** 外宮 拓実様  
**所 属:** 商学部・商学科  
**近 況:** 商学部・商学科3年生。太宰ゼミのゼミ長を務めるほか、Tableauの学生アンバサダーとしても活動。目標はTableauを学ぶ学生同士の交流の機会を増やすこと。



**お名前:** 諸富 樹様  
**所 属:** 商学部・商学科  
**近 況:** 商学部・商学科3年生。Tableauの学生アンバサダーとして、他大学との交流の拡大や、後輩のアウトプットの機会の創出を目標に掲げる。



**お名前:** 仁田原 良信様  
**所 属:** 商学部・商学科  
**近 況:** 商学部・商学科4年生。音楽をはじめとする各種分野のデータを可視化してTableau Publicに投稿するなど、学業以外でもTableauを積極的に利用。



**お名前:** 高松 郁人様  
**役 職:**  
**部門名:** 嘉穂無線ホールディングス  
 株式会社 マーケティング部  
**近 況:** 2022年3月、商学部・商学科を卒業。同年4月、嘉穂無線ホールディングスに入社。ゼミで学んだデータ分析とTableauスキルを活かし、マーケティング部で活躍。

### 導入の背景・選定理由

#### 授業オンライン化により個人PCで使える分析ツールが不可欠に

マーケティングの実践に重きを置く福岡大学商学部の太宰潮ゼミでは、パートナー企業と秘密保持契約を結んで借用したID-POS（消費者の購買データ）等の実データを分析し、その結果をもとに企業へのマーケティング施策の提案などを行っています。その学習のためのツールとして、オンプレミスの統計解析ソフトを学内の共有PCに導入し、長年利用してきました。

そうした中、大きな転機となったのがコロナ禍です。大学施設の利用が大幅に制限され、すべての授業がオンラインとなったことで、学内の共有PCではなく、ゼミ生各自のPCで使えるデータ分析ツールへの切り替えが急務となったのです。

「Tableauなら、フリーのアカデミックライセンスを提供してくれて、ゼミ生全員が個人PCで使えるということで、私たちのニーズにぴつ

たり合うと思いました。また、私たちがコラボしている企業をはじめ、社会で広く使われていて、ゼミ生たちがツールを通じて社会人の方と接する機会が多くなりそうだということも、選定の決め手のひとつになりました」（太宰先生）

### Tableau 導入・運用環境

#### ゼミ生が短期間でスキルを身につけ、アイデアを実践

2020年3月、Tableauを導入した太宰ゼミ。ゼミ生の大半が初めてTableauを触るところからのスタートでした。使い方の習得についてはゼミ生の自主性に委ねる方針で、各自がさまざまな方法で学習を進めていったそうです。

「私は最初、Tableauの読み方すらわからなかったのですが、公式eラーニングや動画サイト、書籍などを見て勉強したり、先輩に質問したりして、使い方をイメージできたら実際に触ってみる、という方法で徐々に覚えていきました」（諸富さん）

「Tableauに関する疑問点は皆だいたい共通しているので、ゼミ生同士で集まって勉強会を開き、お互いに教え合って学びを深めていきました」(外宮さん)

そうした熱心な取り組みの結果、ゼミ生の多くが1~3か月程度でTableauの基本的な使い方をマスター。2023年2月時点で、4名のゼミ生がDATA Saber(データドリブン文化を広めるための包括的な知識を学ぶコミュニティ主導の認定プログラム)に合格している、と太宰先生は目を細めます。

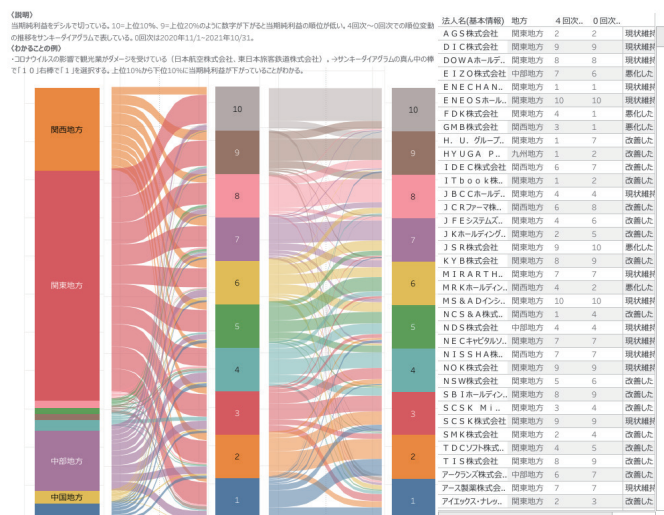
「今やゼミ生は私のはるか先まで学習を進めてしまって、むしろ私のほうが、なんとか追いつかなければと焦っています(笑)」(太宰先生)

ゼミでは、Tableauを利用してID-POSの分析やオムニチャネル行動の可視化などを実施。あるスーパーマーケットからの依頼を受けて、コロナ禍前後の需要の差異を分析し、その結果をもとに商品の訴求方法を提案して売上アップに貢献するなど、実践的な活動につながるTableauの活用を進めていきました。

さらに、Webサイトへのアクセス数や地図アプリでの検索数・キーワードから顧客インサイトを可視化するなど、太宰先生いわく「私が教えたのではなくゼミ生が自分で身につけたスキルや考えたアイデア」を実践するケースがどんどん増えていきました。

高松さんは、実際にTableauを使ってみて、1~2年次に使っていたオンプレミスの統計解析ソフトとの違いに驚いたといいます。

「分析がメインだった以前のソフトとは比べものにならないほど、Tableauのビジュアルはカラフルで見やすく、しかもドラッグ&ドロップですべてできてしまう。こんなに簡単にグラフを作れるんだ、と本当に感動しました」(高松さん)



作成者：福岡大学 太宰ゼミナール 樋口 瑠星 様 (DATA Saber)  
企業分析 Award に参加した際にオープンデータで作成したサンキーダイアグラム

### Tableau 導入の効果

#### ゼミ生のアウトプットと学外交流の機会が飛躍的に増加

「Tableauを使うと、ゼミ生各自が小一時間の授業内にアウトプットを1~2つは出せる。しかも、一度作ったものは他社の事例やデータにも応用できるので、作成時間をどんどん短縮できる。以前の統計解析ソフトでは考えられないことです」(太宰先生)

進化したのはゼミの学習内容だけではありません。Tableauから得られた最大のメリットは、Tableauコミュニティでのライトニングトークという短時間のプレゼンテーションなど、学外でのゼミ生のアウトプットの機会が格段に増えたことだ、と太宰先生は喜びます。

「年に3~4回、自主的に学外の発表の場に参加しているゼミ生が何人もいます。以前は主に東京でリアル開催されていたそうした場が、コロナ禍でオンライン開催になったことは、地方在住の学生にとってはむしろありがたく、アウトプットの機会が無限に広がったようなもの。また、Tableauを導入している企業は多いので、Tableauをきっかけとしてゼミ生が企業の方と話す機会が飛躍的に増えました。そうした場で社会人の方に向けて発表し、評価されるというのは、ゼミ生にとって大きな達成感を得られる貴重な経験となっています」(太宰先生)

仁田原さんと諸富さんは、学習の成果を学外に向けてアウトプットすることにやりがいや楽しさを感じているといいます。

「意外だったのは、Tableauを介したコミュニケーションでは、実務に携わっている企業の方が、学生だからと特別視することなく本気で向き合ってくださること。『この分析はすごくよかった』『もっとこうしたほうがいい』という評価やアドバイスをいただけることは、本当にうれしく、勉強になります」(仁田原さん)

「企業の方から、『こんなこと知らなかったよ』と教えていただいたことが、私にとってものすごく大きな経験になっています。Tableauコミュニティでは、学生の言葉でも真摯に受け止めていただけますし、ユーザーの方々の温かさも感じられて、Tableauをさらに好きになりました」(諸富さん)

### 今後の展開について

#### Tableauのスキル・経験がキャリア選択の重要なポイントに

外宮さんと諸富さんは、Tableauコミュニティでの講演やコンテンツの公開、他大学の学生との交流などにリーダーとして携わる「学生アンバサダー」として、日々精力的に活動しています。そうし

た Tableau を介した取り組みは、ゼミ生のキャリア教育においても大いに役立っているようです。

「私の場合、Tableau のおかげで人生が変わったという過言ではないと思います。3年生のとき、Tableau を使えるという理由で、カホエンタープライズでインターンを経験させていただきました。そして4年生になり、就職活動で行きたい企業になかなか巡り会えない中、その楽しかったインターンのことを思い出して、『どうしても入社したい』と直接メールしたんです。すると、中途採用しかしていないにもかかわらず、特別に面接を実施してくださり、結果親会社での採用に。現在は、現場の経験を積みながらデータ活用に取り組んでいます」(高松さん)

「私も3年次、インターン先の企業で Tableau を活用したことが、就職先を決める大きなポイントになりました。マーケティングチームの方とダッシュボードを作成する中で、データ分析の楽しさや難しさはもちろん、この領域なら自分が社会に必要とされるのではと実感して、Tableau のスキルを活かせる企業を就職先を選びました」(仁田原さん)

3年生以下のゼミ生たちは、先輩たちのそうした姿から大きな

刺激を受けているようです。

「Tableau を活用して主体的に動き、世界を広げている先輩たちにならって、私も今、インターン先でデータ分析に取り組んでいます。ゼミで Tableau を使って学んだことは大いに役立っていますし、卒業後には、Tableau やデータ分析に関連する仕事に就きたいと考えています」(外宮さん)

「実は高校時代、数学で学ぶデータの領域が苦手でした。ところが、Tableau を使ってデータ分析を学ぶうちに、『意外と好きかも』と思えるようになって、さらに Tableau の発表をきっかけに、ある企業の社長から声をかけていただいてインターンまで経験できました。データに関わることなんて一生ないと思っていたのに、今では Tableau を使って仕事ができたらいいなと思うようになっています」(諸富さん)

日頃の学習を通じて、太宰先生がゼミ生に一番に伝えようとしているのは、「データという分野は、本気で勉強すれば実社会や実務で活躍できる人になれる」ということだといいます。そのメッセージは、Tableau を介してゼミ生にしっかりと届き、確実に実を結んでいるようです。

## Q1. Tableau で感動したことは？

### A1. 直感的な操作ときれいな Viz に無限の可能性を実感

「こんなに簡単に、直感的に可視化できるのか」「データというのは見えるようになるってこんなにおもしろいのか」と感動しました。多くのシートがダッシュボード上できれいに表現されることにときめき、無限の可能性を感じました。

## Q2. Tableau 導入後の変化は？

### A2. アウトプットの機会が急増し、世界が一気に拡大

学外に向けてアウトプットし、社会人の方から評価されるという、学生にはなかなかない経験ができるようになったこと。Tableau コミュニティでの発表がその後のチャンスや人脈につながるなど、Tableau によって世界が一気に広がりました。

無料トライアル版をダウンロードして、ぜひ Tableau をお試しください。

<http://www.tableau.com/ja-jp/trial>

株式会社セールスフォース・ジャパン Tableau 事業統括